

2024年度 第2四半期(中間期) 決算説明会資料

2024年11月15日

株式会社 **きんでん**

東証プライム : 1944

目次

1. 決算概要と通期の見通し

- (1) 決算概要 … 2
- (2) 通期の見通し … 4

2. 業績の状況

- (1) 予想との比較 【個別】 … 6
- (2) 前年同期比較 【個別】 … 7
- (3) 工事種別の状況(受注) 【個別】 … 8
- (4) 工事種別の状況(完成) 【個別】 … 9
- (5) 完成工事高 受注時期別
(配電工事を除く) 【個別】 … 10
- (6) 工事種別手持工事高の状況 【個別】 … 11
- (7) 販売費及び一般管理費の状況 【個別】 … 12
- (8) 予想との比較 【連結】 … 13

- (9) 前年同期比較 【連結】 … 14
- (10) 完成工事高の増減 【連結】 … 15
- (11) 海外(地域別) 受注・完成工事高の状況
【きんでん+海外子会社】 … 16

- (12) 営業利益の増減 【連結】 … 17
- (13) 貸借対照表の状況 【連結】 … 18
- (14) キャッシュ・フローの状況 【連結】 … 19

3. 業績予想

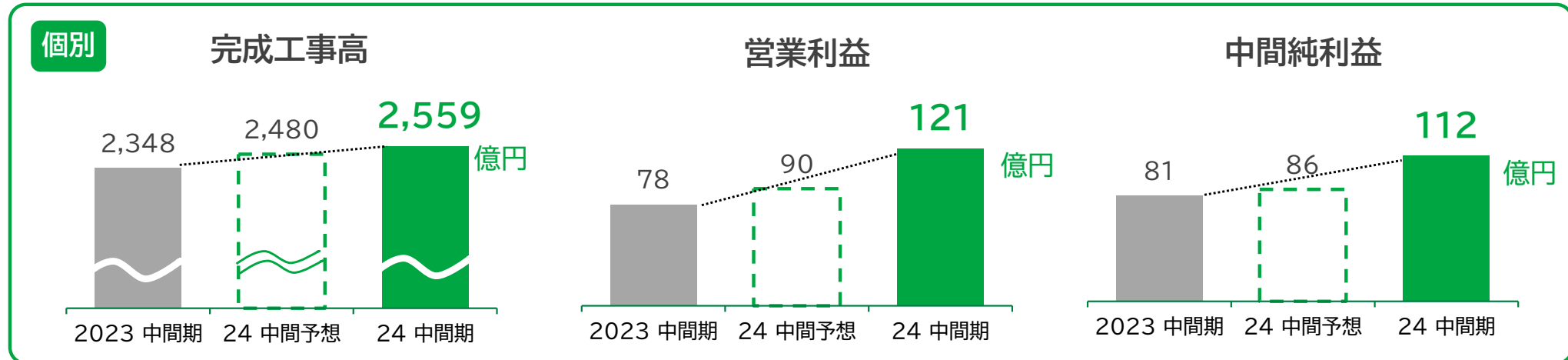
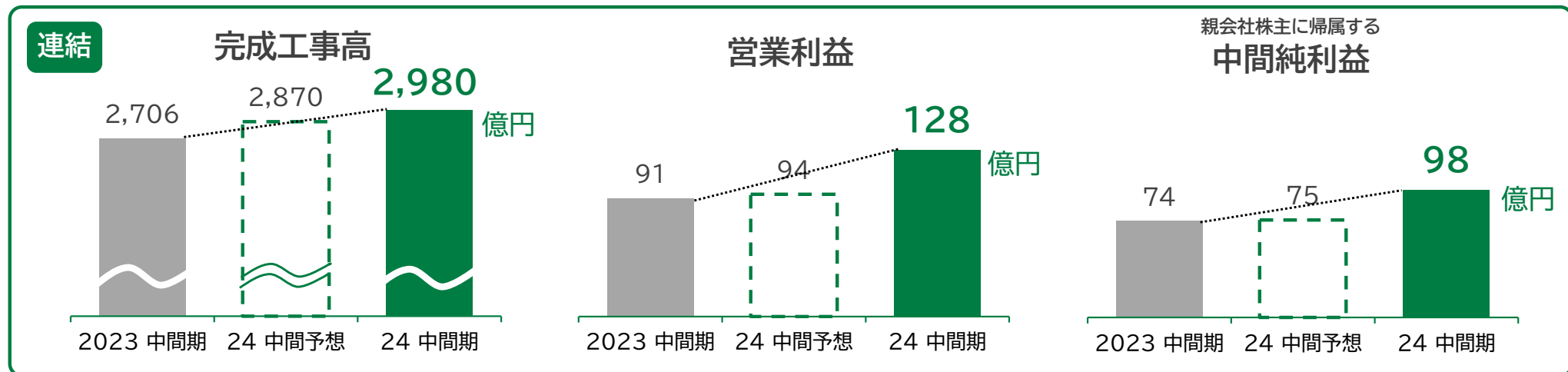
- (1) 通期予想 【個別】 … 21
- (2) 通期予想 【連結】 … 22

4. 株主還元

- (1) 配当について … 24
- (2) 自己株式の取得について … 25

1. 決算概要と通期の見通し

(1)決算概要 ①



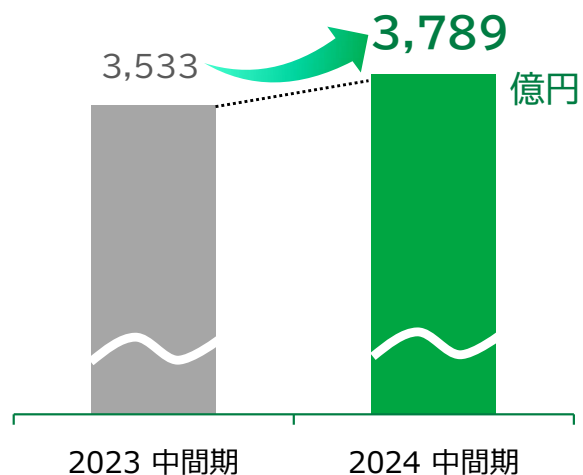
- ◆ 連結・個別とも、期首予想を上回り、完成工事高、およびすべての利益において増収・増益
- ◆ 昨年に引き続き、企業収益の改善や高い投資意欲などから、国内経済は堅調に推移
- ◆ 建設業界においても、資材費や労務費の価格転嫁が一定程度進み、企業の設備投資意欲を追い風に、旺盛な需要が続いており、当社の業績も堅調に推移

(1)決算概要 ②

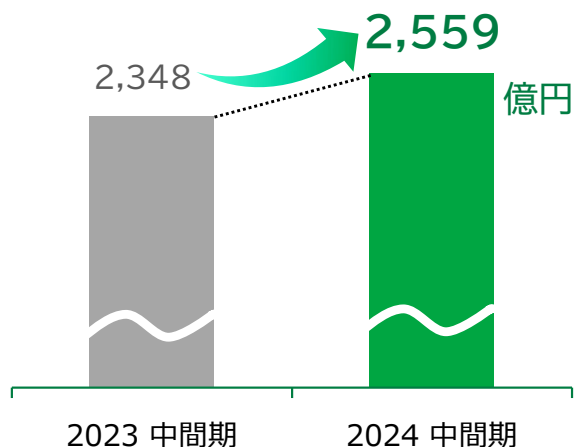
きんでん個別（対前年同期）

個別

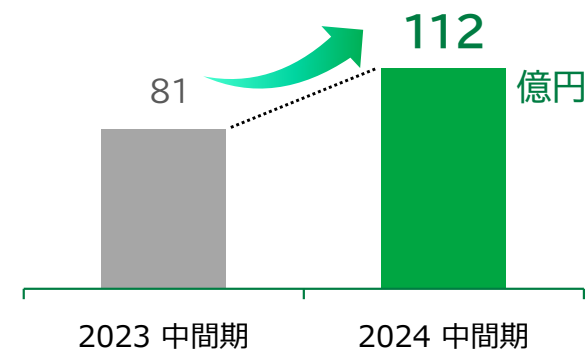
受注工事高



完成工事高



中間純利益



【受注】この先の営業情報も豊富で、手持工事高は非常に高い水準を維持

【完成】期首手持工事高は前期を上回る状況でスタート、当期の受注も堅調に推移し、増収となった

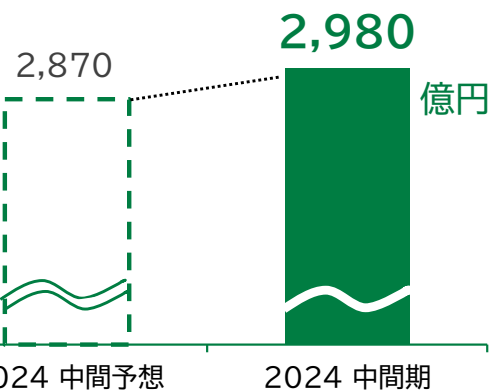
【利益】好調な市場環境の中、原価低減をはじめとする利益向上の努力を進めたことにより、手持工事の利益率が上昇し、その結果、完成工事総利益率が前期を上回り、増益となった

(2)通期の見通し

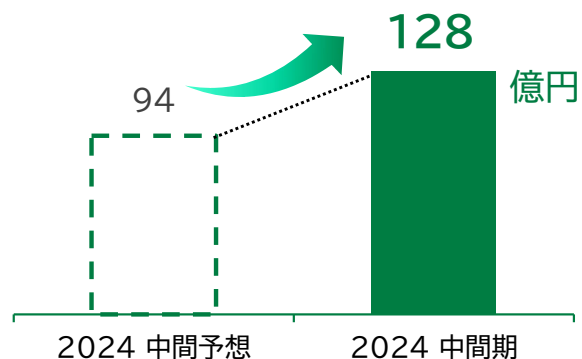
中間期（対中間予想）

連結

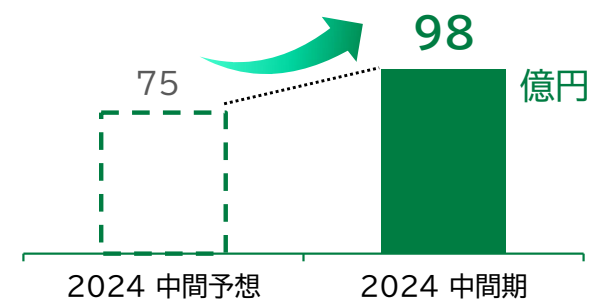
完成工事高



営業利益



親会社株主に帰属する
中間純利益

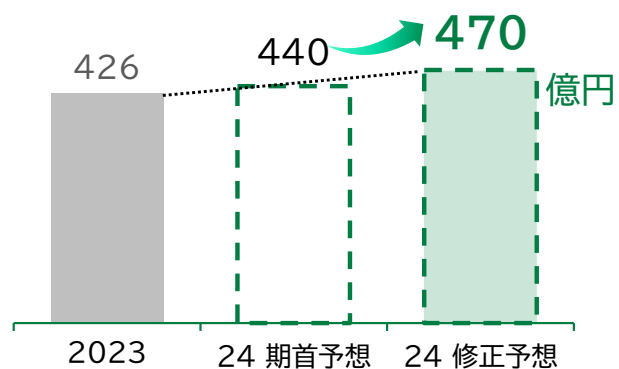


各利益を上方修正

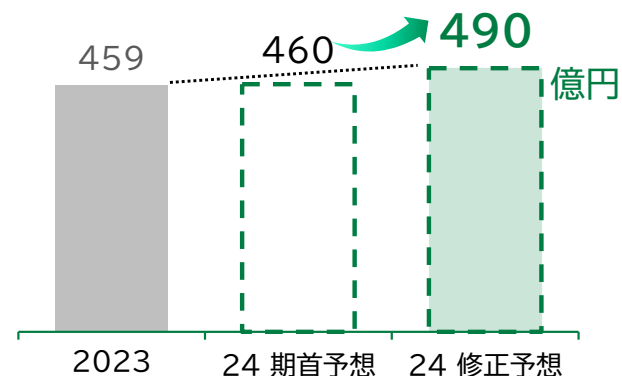
通期予想

連結

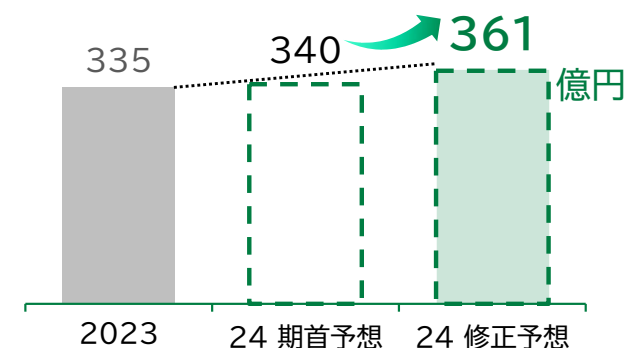
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する
当期純利益



2. 業績の状況

(1) 予想との比較【個別】

完成工事高、各利益共に予想を上回った

◆ 完成工事高

一般電気工事を中心に、期首手持工事が計画通りに進捗した

◆ 各利益

原価低減をはじめとする利益確保努力をさらに進めたことで期首に想定した工事利益率より上昇したことに加えて、当期受注・当期完成工事について、売上高は前年同期並みであったが、利益率が上昇したことで、各利益額が予想を上回った

(単位:百万円)

	2Q予想	2Q実績	差額	率
完成工事高	248,000	255,908	7,908	3.2%
営業利益	9,000	12,171	3,171	35.2%
営業利益率	3.6%	4.8%	1.2	-
経常利益	12,000	15,302	3,302	27.5%
中間純利益	8,600	11,234	2,634	30.6%
1株当たり中間純利益	42.89 円	56.00 円	13.11 円	

(2) 前年同期比較【個別】

◆ 完成工事高

豊富な期首手持工事高が順調に進捗したことなどにより、増加

◆ 各利益

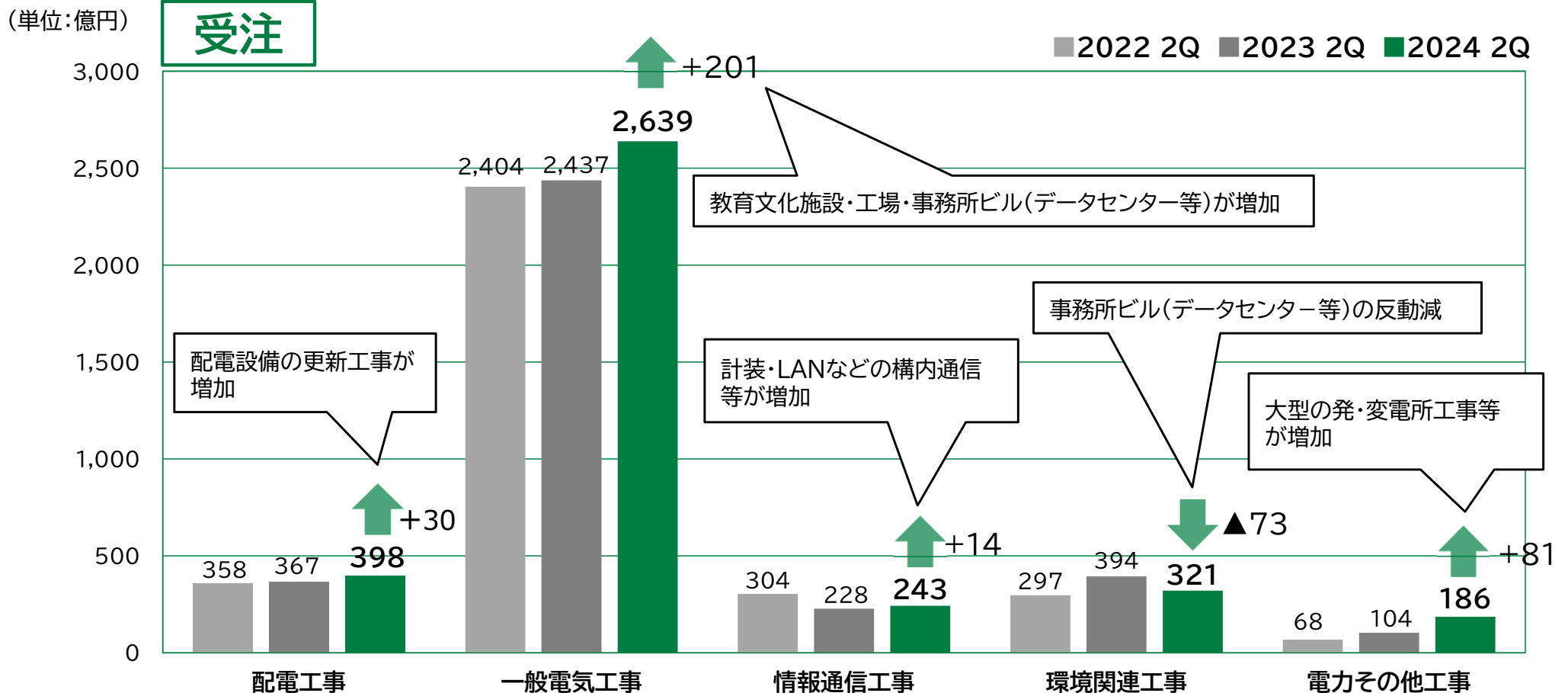
完成工事高が増加したことに加え、期首手持工事の利益率が前期に比べて上昇した状態でスタートしたことや、当期受注・当期完成工事の利益率の上昇により、完成工事総利益率が前年同期を上回り、増加

(単位:百万円)

	2023_2Q	2024_2Q	増減	増減率
受注工事高	353,301	378,900	25,599	7.2%
完成工事高	234,886	255,908	21,021	8.9%
完成工事総利益	33,767	40,225	6,457	19.1%
完成工事総利益率	14.4%	15.7%	1.3	-
販売費及び一般管理費	25,916	28,053	2,136	8.2%
営業利益	7,851	12,171	4,320	55.0%
営業利益率	3.3%	4.8%	1.5	-
経常利益	11,122	15,302	4,180	37.6%
中間純利益	8,153	11,234	3,080	37.8%
1株当たり中間純利益	40.02 円	56.00 円	15.98 円	

(3) 工事種別の状況(受注)【個別】

- ◆ 配電工事、一般電気工事、情報通信工事、電力その他工事は増加
- ◆ 環境関連工事は減少
- ◆ 旺盛な建設需要に支えられて市場が好調な中、受注工事高は順調に推移し、前年同期を上回る結果となっている



(4) 工事種別の状況(完成)【個別】

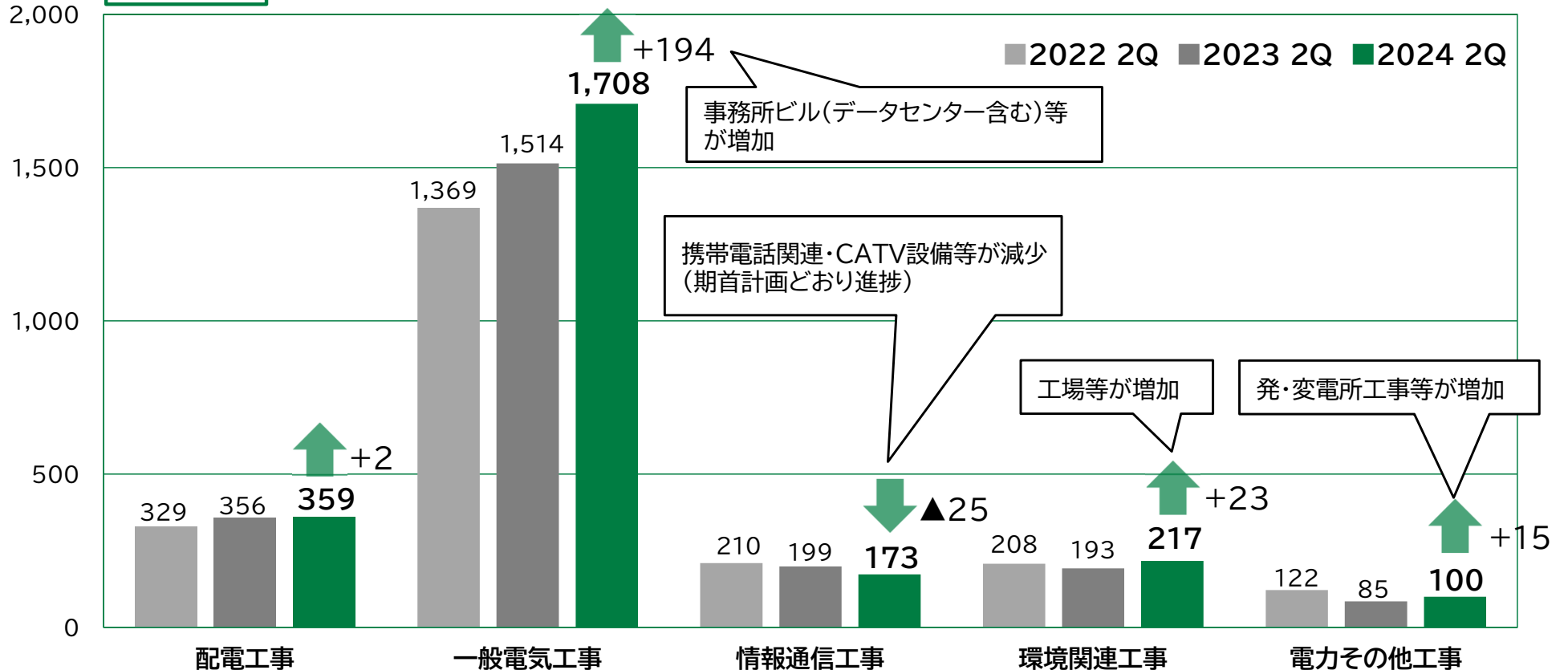
- ◆ 配電工事は微増、一般電気工事、環境関連工事、電力その他工事は増加
- ◆ 情報通信工事は減少

◆ 完成工事総利益率の順位(工事種別)

① 電力その他 > ② 一般電気 > ③ 情報通信 > ④ 配電 > ⑤ 環境関連

(単位:億円)

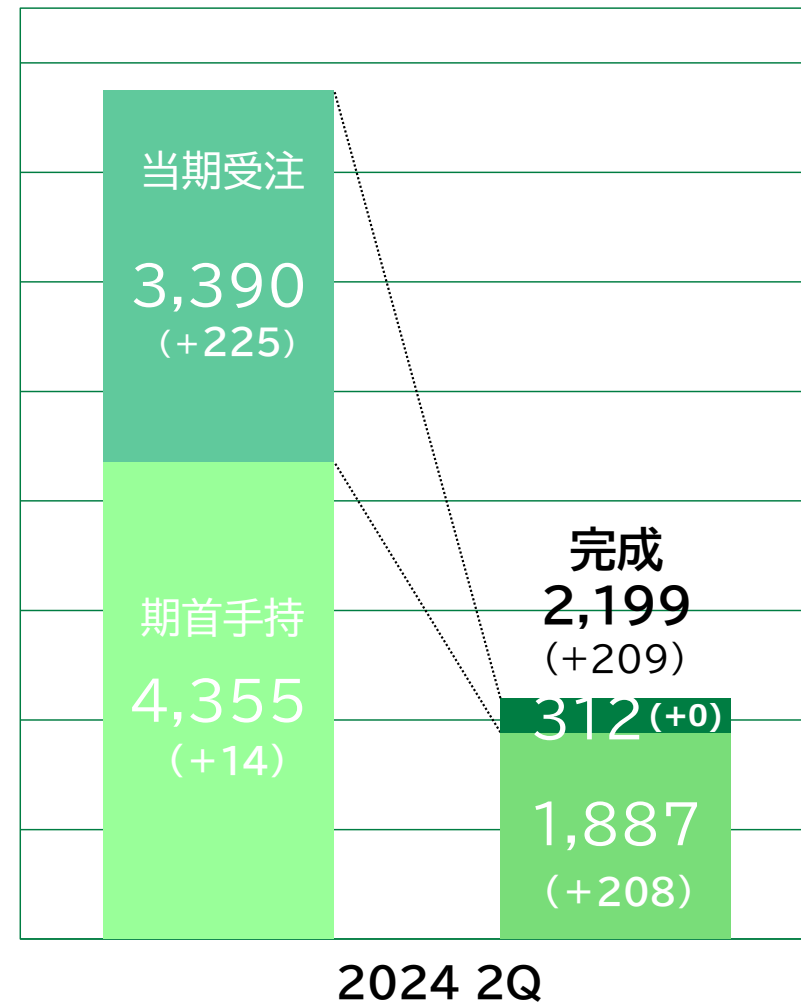
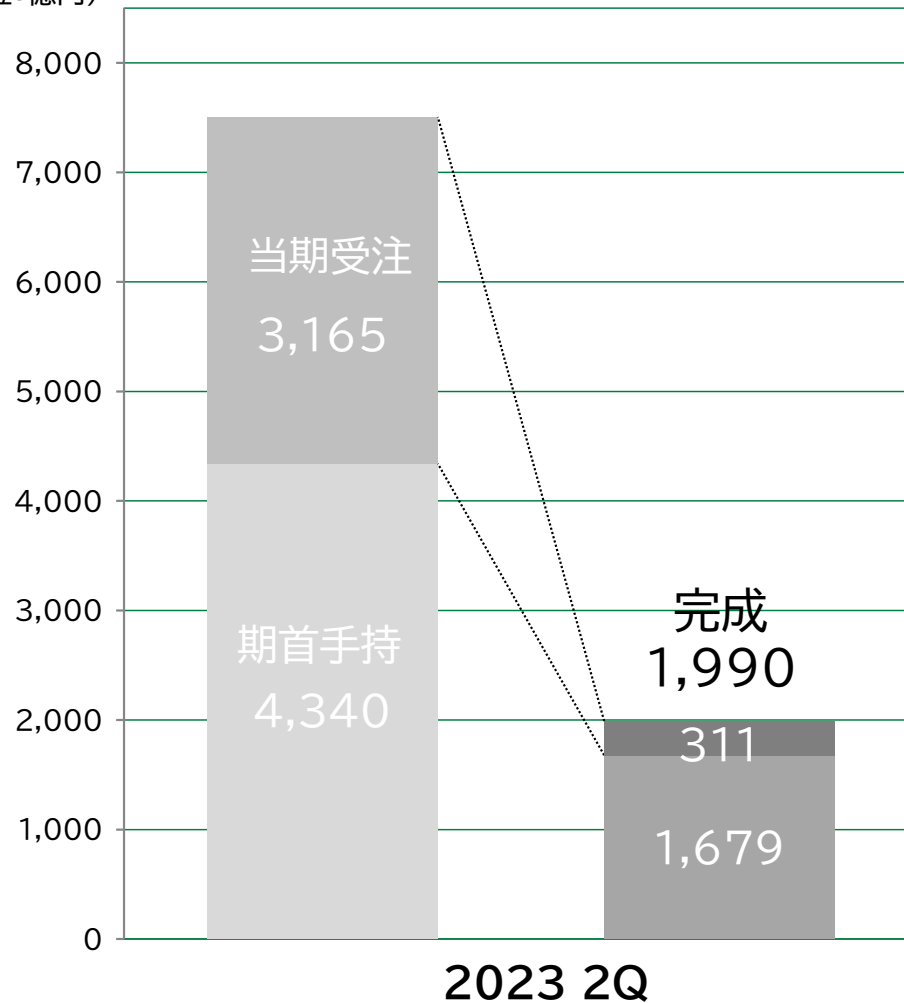
完成



(5) 完成工事高 受注時期別(配電工事を除く)【個別】

- ◆ 期首手持からの完成工事高は、208億円増加 (1,679 → 1,887億円)
- ◆ 当期受注からの完成工事高は、微増 (311 → 312億円)

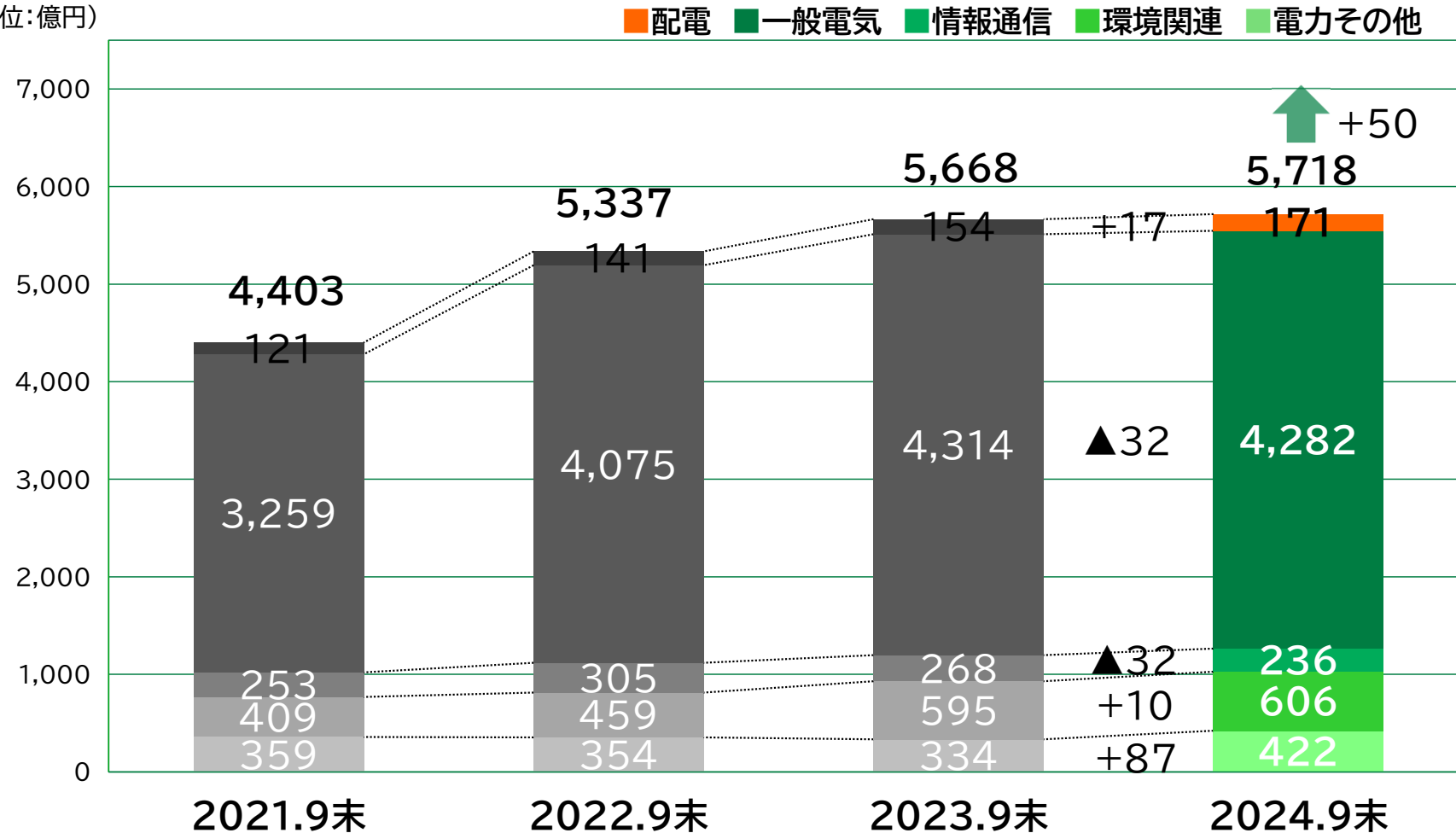
(単位:億円)



(6) 工事種別手持工事高の状況【個別】

- ◆ 手持工事高は、前年同期末より50億円増加
- ◆ 引き続き高水準を維持している

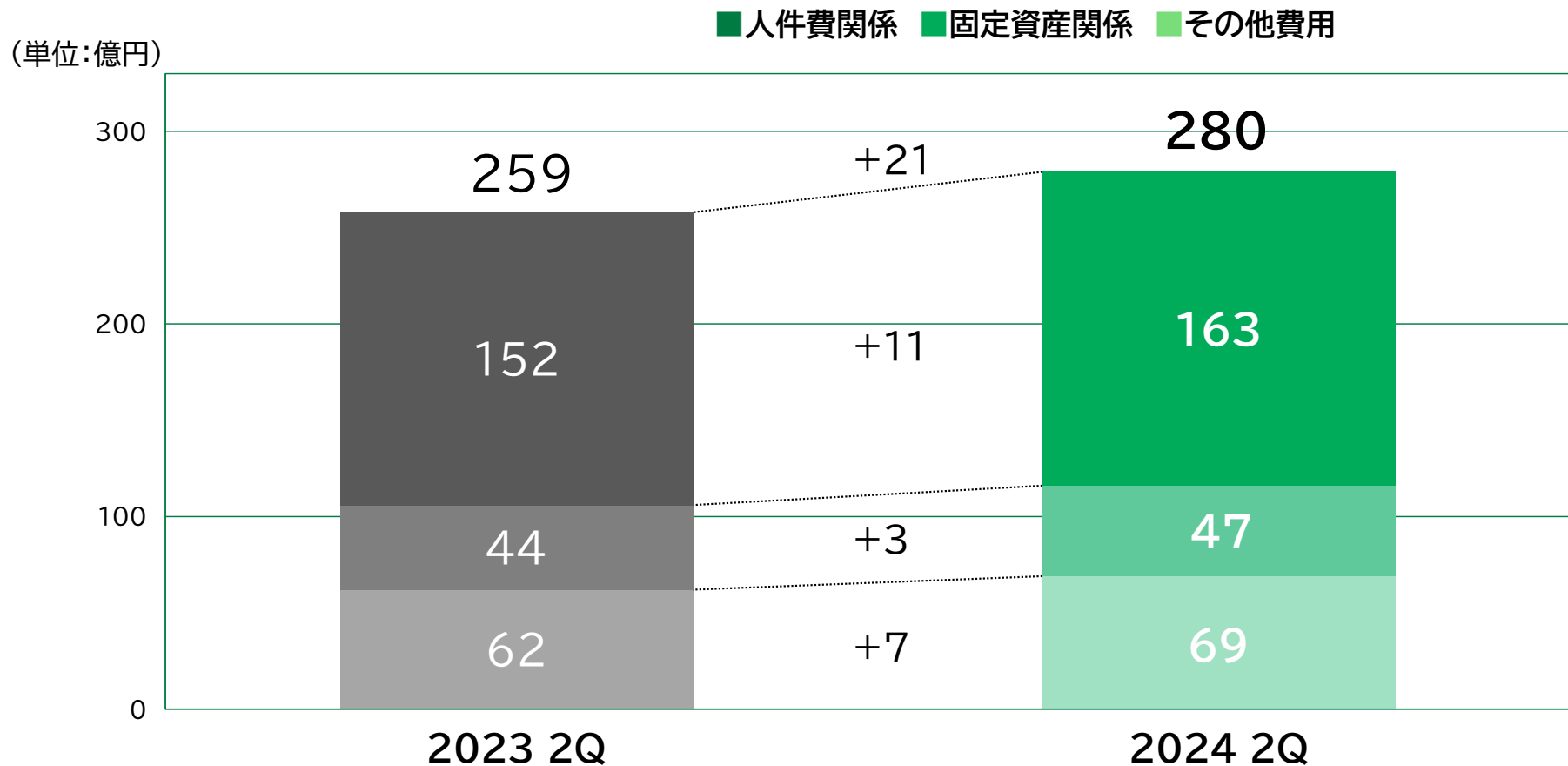
(単位:億円)



(7) 販売費及び一般管理費の状況【個別】

◆ 前年同期より21億円増加

- ・人件費関係は、ベースアップ等により増加
- ・その他費用は、主に働き方改革関連費用や、DX関連の情報システム関連費用が増加
- ・現時点では、期首の計画通り推移



(8) 予想との比較【連結】

- ◆ 完成工事高
きんでん個別に加え、子会社も予想を上回った
- ◆ 各利益
きんでん個別に加え、子会社も予想を上回った

(単位:百万円)

	2Q予想	2Q実績	差額	率
完成工事高	287,000	298,040	11,040	3.8%
営業利益	9,400	12,876	3,476	37.0%
営業利益率	3.3%	4.3%	1.0	—
経常利益	11,000	14,316	3,316	30.2%
親会社株主に帰属する 中間純利益	7,500	9,815	2,315	30.9%
1株当たり中間純利益	37.41 円	48.92 円	11.51 円	

(9) 前年同期比較【連結】

◆ 完成工事高、各利益共に増加

主に、きんでん個別が増収増益となったことなどによる

(単位:百万円)

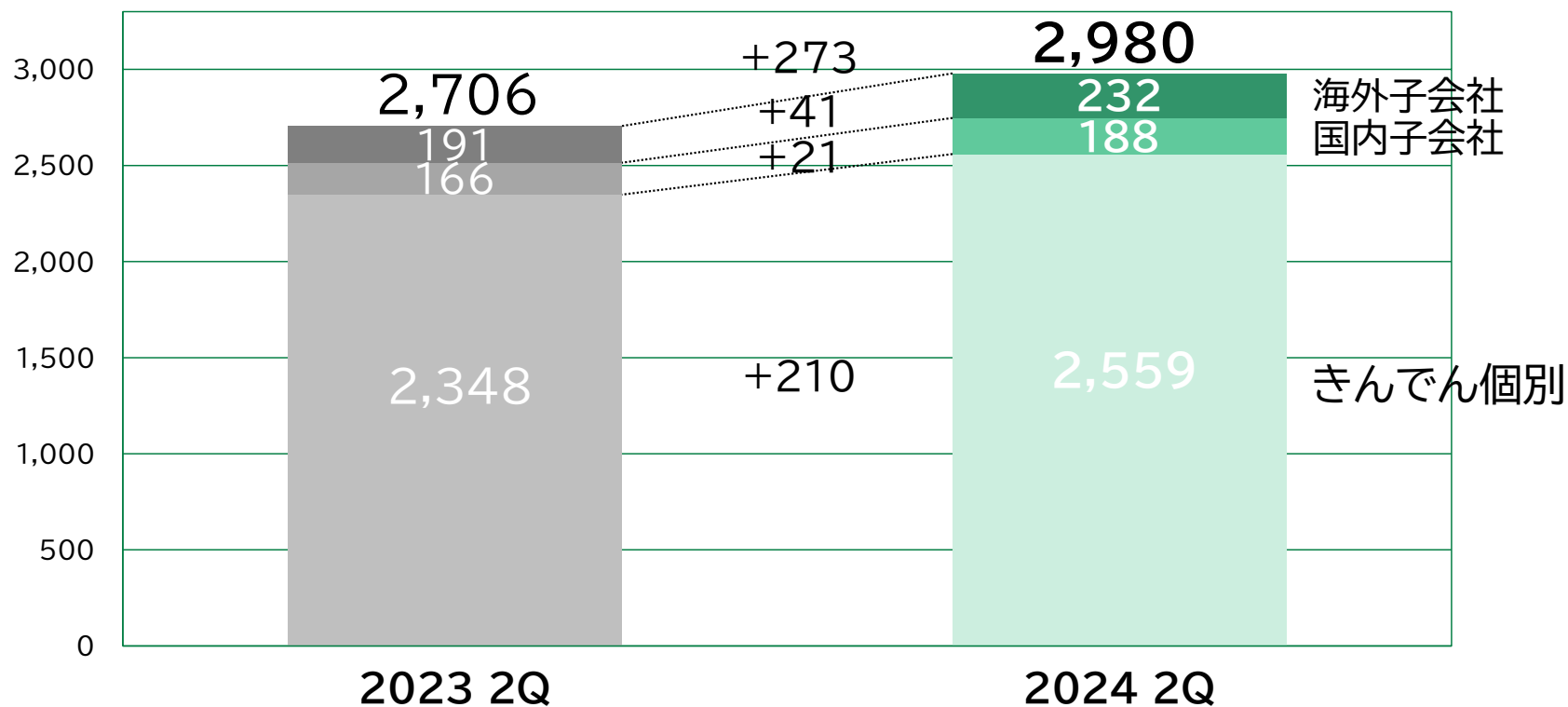
	2023_2Q	2024_2Q	増減	増減率
完成工事高	270,670	298,040	27,369	10.1%
完成工事総利益	40,122	46,435	6,313	15.7%
完成工事総利益率	14.8%	15.6%	0.8	—
販売費及び一般管理費	30,986	33,559	2,572	8.3%
営業利益	9,135	12,876	3,741	41.0%
営業利益率	3.4%	4.3%	0.9	—
経常利益	10,964	14,316	3,352	30.6%
親会社株主に帰属する 中間純利益	7,497	9,815	2,318	30.9%
1株当たり中間純利益	36.80 円	48.92 円	12.12 円	

(10) 完成工事高の増減【連結】

◆ 前年同期から273億円の増加

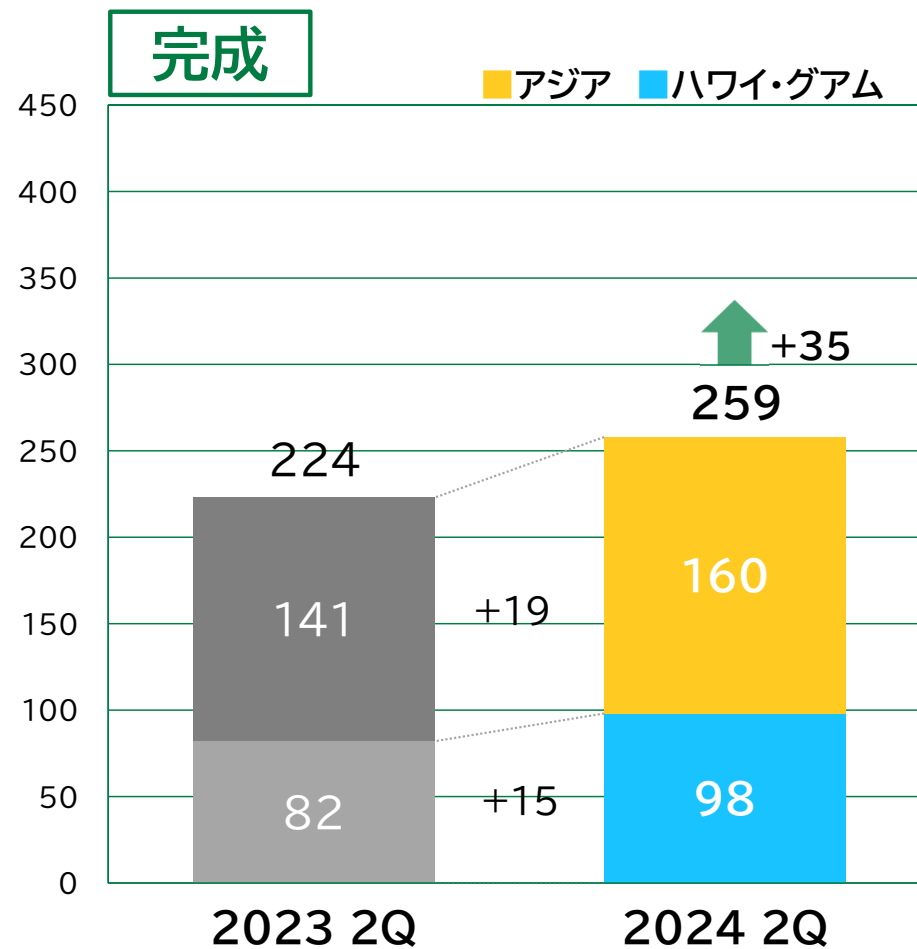
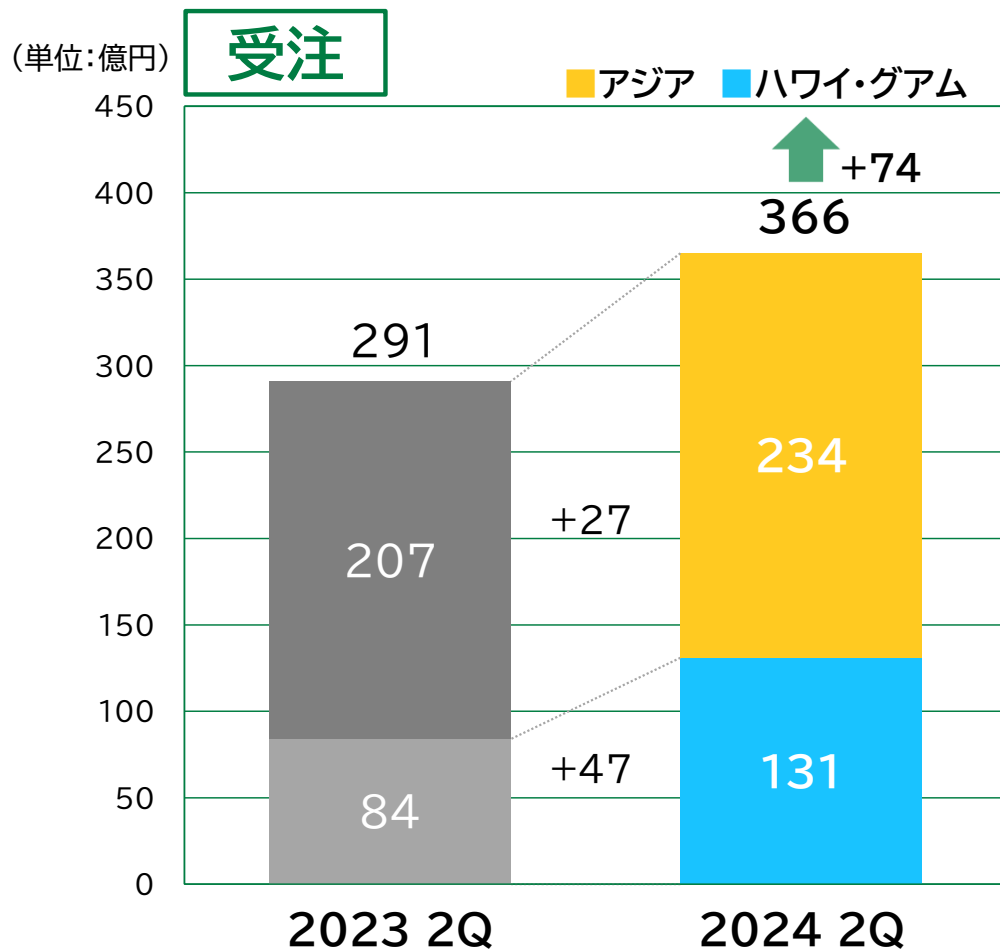
- ・きんでん個別が、210億円増加
- ・国内子会社は、21億円増加（西原衛生工業所 他）
- ・海外子会社は、41億円増加（ハワイ子会社、ドバイ子会社 他）

(単位:億円)



(11) 海外(地域別) 受注・完成工事高の状況【きんでん+海外子会社】

- ◆ 受注
アジア、ハワイ・グアムともに増加
- ◆ 完成
アジア、ハワイ・グアムともに増加

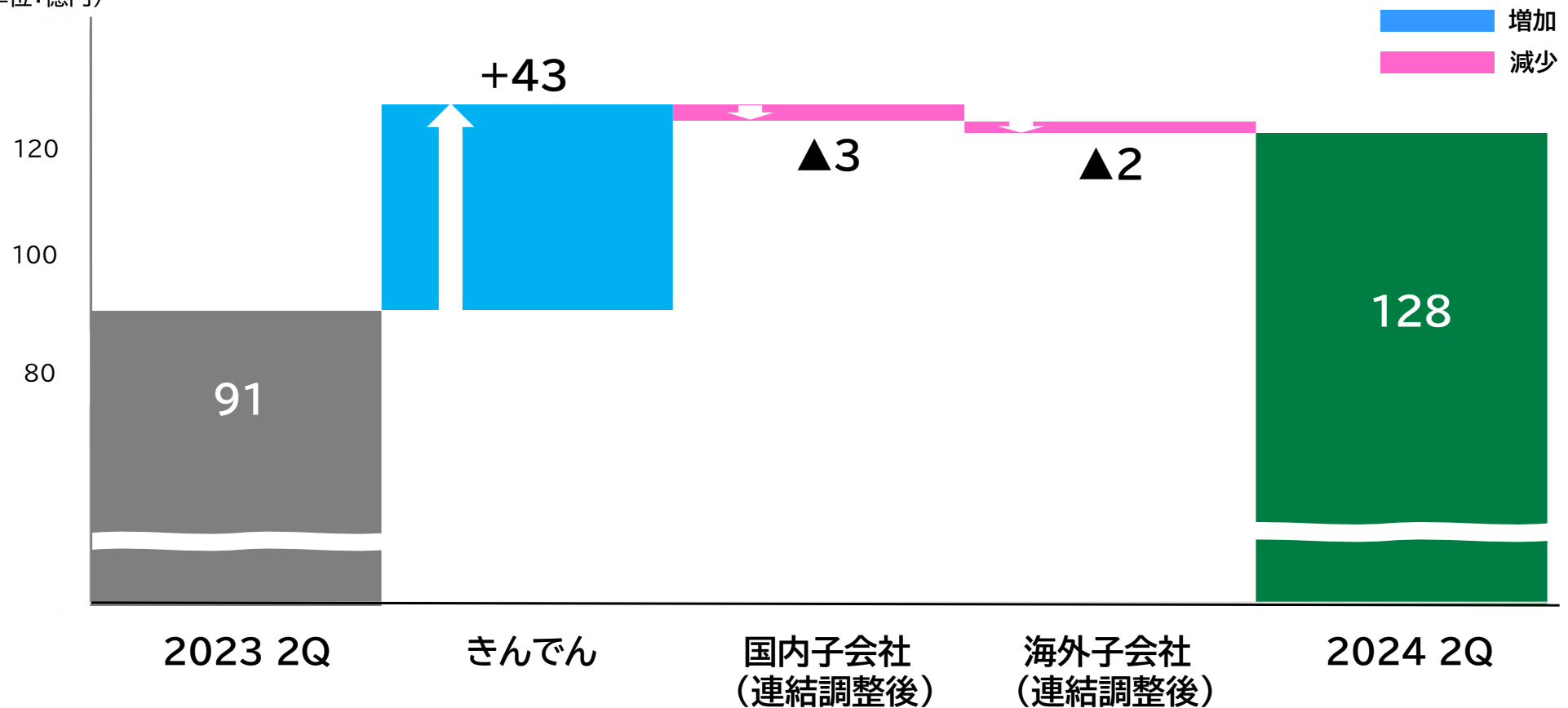


(12) 営業利益の増減要因【連結】

◆ 対前年同期37億円の増加

- ・きんでん個別は、完成工事高の増加や工事利益率の上昇により43億円の増加
- ・子会社は、前年同期に比べ微減

(単位:億円)

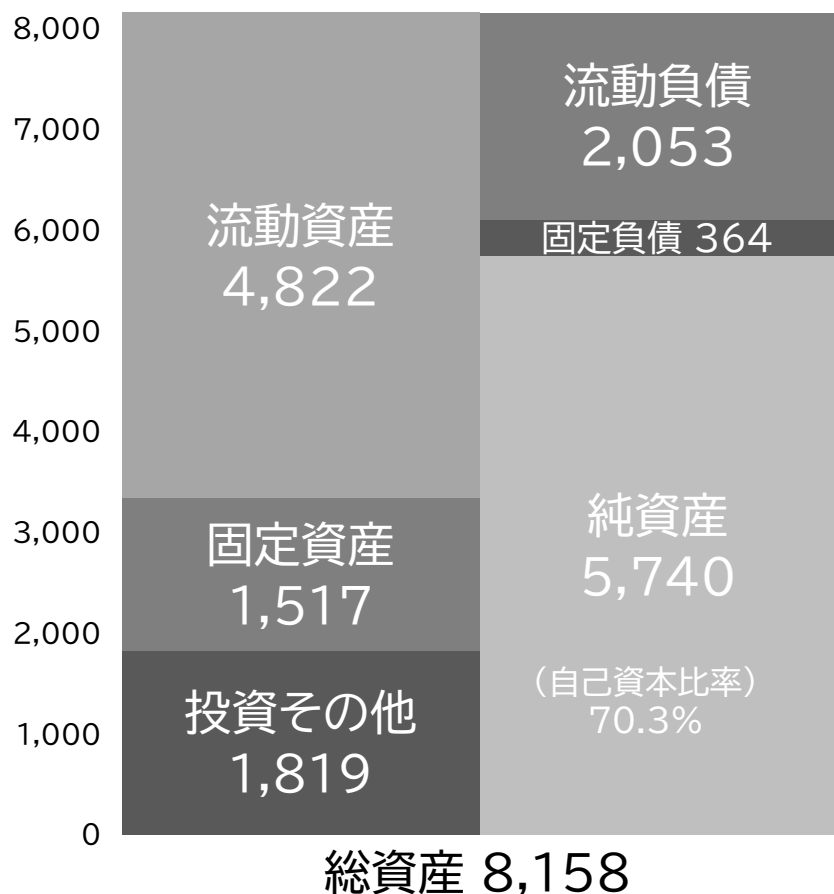


(13) 貸借対照表の状況【連結】

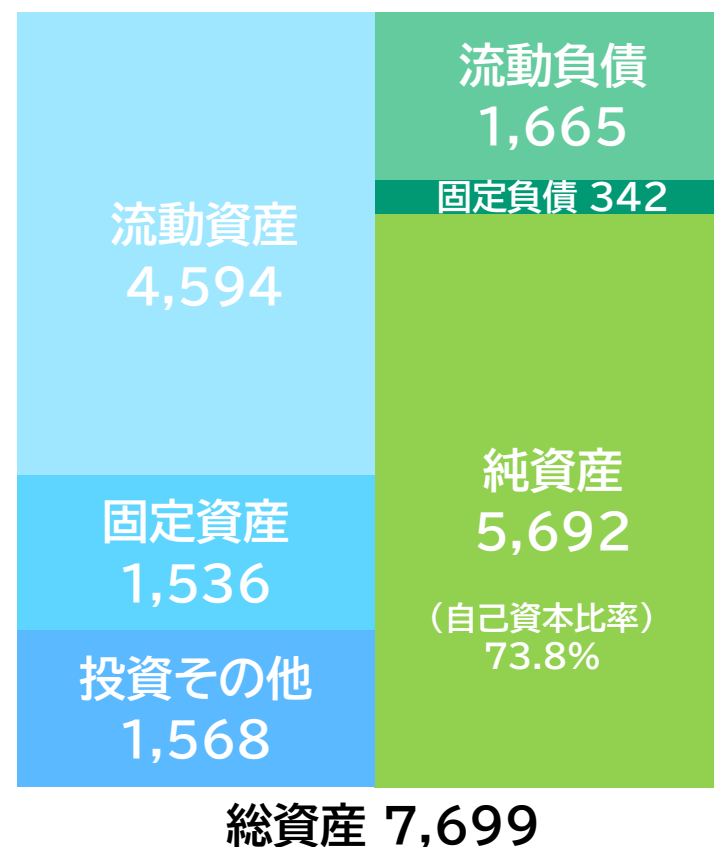
◆ 前期末と比較し、総資産は459億円減少、純資産は48億円減少し、自己資本比率は73.8%となった

(単位:億円)

2024.3末



2024.9末



(14) キャッシュ・フローの状況【連結】

- ◆ 営業活動は、利益の計上等により264億円の資金が増加
- ◆ 投資活動は、有価証券及び投資有価証券の減少(売却・償還)などにより31億円の資金が増加
- ◆ 財務活動は、自己株式の取得、配当金の支払いなどにより131億円の資金が減少
- ◆ その結果、現金及び現金同等物は176億円増加し、残高は1,981億円となった

(単位:億円)

	2023_2Q	2024_2Q		
	実績	実績	主な内容	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	50	264	税引前利益の計上 +152 売上債権の減少 +661 仕入債務の減少 △309 法人税等の支払 △136	214
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 0	31	固定資産の取得 △48 有価証券及び投資有価証券の減少 +90	31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 85	△ 131	自己株式の取得 △38 配当金の支払 △86	△46
現金及び現金同等物の増減額	△ 24	176		200
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,770	1,981		210

3. 業績予想

(1) 通期予想【個別】

◆ 中間期については期首発表数値を上回り、下期については期首の計画どおり推移すると見込んでおり、中間期の業績を踏まえ、各利益の予想を上方修正

(単位:百万円)

	通期予想(期首発表)	通期予想(今回修正)	増減額	増減率
受注工事高	540,000	540,000	0	0.0%
完成工事高	560,000	560,000	0	0.0%
営業利益	37,000	40,000	3,000	8.1%
営業利益率	6.6%	7.1%	0.5	—
経常利益	41,000	44,000	3,000	7.3%
当期純利益	31,000	33,100	2,100	6.8%
1株当たり当期純利益	155.13 円	165.44 円	10.31 円	

(2) 通期予想【連結】

- ◆ きんでん個別と同様に、中間期については期首発表数値を上回り、下期については期首の計画どおり推移すると見込んでおり、中間期の業績を踏まえ、各利益の予想を上方修正

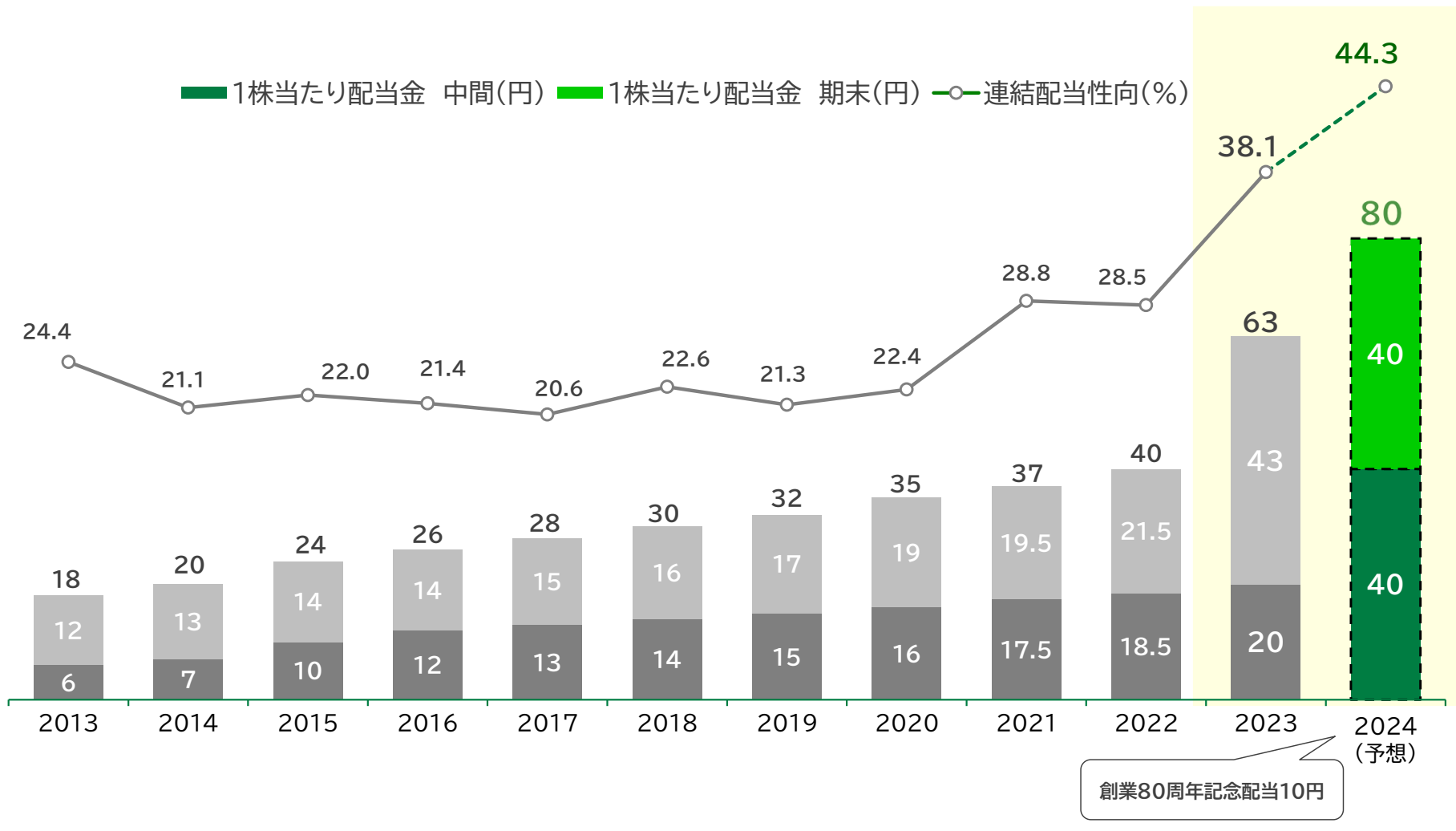
(単位:百万円)

	通期予想(期首発表)	通期予想(今回修正)	増減額	増減率
完成工事高	660,000	660,000	0	0.0%
営業利益	44,000	47,000	3,000	6.8%
営業利益率	6.7%	7.1%	0.4	—
経常利益	46,000	49,000	3,000	6.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	34,000	36,100	2,100	6.2%
1株当たり当期純利益	170.14 円	180.43 円	10.29 円	

4. 株主還元

(1) 配当について

配当の推移



(2) 自己株式の取得について

450万株または、取得総額80億円を上限として実施中

(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.23%)

1. 取得に係る事項の内容

(1) 取得対象株式の種類	当社普通株式
(2) 取得し得る株式の総数	4,500,000株(上限)
(3) 株式の取得価格の総額	8,000,000,000円(上限)
(4) 取得期間	2024年2月1日～2024年12月31日
(5) 取得方法	東京証券取引所における市場買付

2. 自己株式の取得状況

(1) 取得期間	2024年2月1日～2024年10月31日(約定ベース)
(2) 取得した株式の総数	2,196,700株
(3) 株式の取得価格の総額	6,486,236,931円



本資料の予想数値は、当資料の公表日までに入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

- ◆ IRに関するお問い合わせ
株式会社きんでん IR・広報部 IRチーム
〒531-8550 大阪市北区本庄東2丁目3番41号
電話:06-6375-6026